

知っていますか？

～高次脳機能障害～

障がいには、見た目ではわかりにくいものもあります。その一つが高次脳機能障害です。「見えない障がい」とも言われ、周りの人の理解を得られず、本人にとって大きな負担となることも少なくありません。患者数は全国で30万人以上とされています。

まずはこの障がいについての正しい知識を学び、そして、周りの人たちの理解と協力の輪を広げ、障がいのある人もない人も、いきいきと生活できるまちづくりを目指しましょう。

たとえばこんな症状があります

- うっかりミスが多発する傾向が見られます(注意障害)



- 急に怒りっぽくなったり泣きやすくなったりする傾向があります(感情をコントロールする力の低下)



他にもこんな症状があります

- 自分が障がいをもっていることに対する認識がうまくできない(病識欠如)
- 物事を忘れがちになる(記憶障害)
- 計画を立てて物事を進めることができない(遂行機能障害)

その原因として考えられるのが・・・

脳卒中や交通事故などによる、脳の機能へのダメージです。

※行動に現れる障がいであるため、職場に戻ってから問題が明らかになるケースがあります。

こうしていきましょう



まわりの人が障がいを知り、認め、ゆっくりとした話し方で、時間をかけて対応しよう。

何かをしてほしいときには、具体的に紙に書いて渡すなど工夫が必要だね。誤りが多いが、まわりの人がやさしさと思いやりの心を持って、時々チェックすることも大事だね。



障がいのない人でも、ただ怒りっぽい性格の人もいるから、この症状だと決めつけるのはよくないわ。

それぞれの障がいに合った環境をまわりの人が整えてあげることが大切だね。

